



僕は死ねばゴ
ミになる。

しんじ

人は、死ねばゴミになる。そう思った事はないだろうか。
多くの人にはそうは思わないし、実際多くの場合はゴミにならない。
それは天国があるとか無いとかそういう話ではない。
葬儀が行われるかどうかだ。葬儀が行われた人間はゴミじゃない。
それは社会の一部となって風化しただけだ。
人間はいずれ死ぬ。その時に社会的な何かに取り込まれていない人間はゴミになる。
いや、正確には社会のうちにて社会に取り込まれない人間はゴミになる。
ゴミと言う概念が社会的な物だからだ。
自然のうち死ぬのならば、自然の一部になる。
社会の一部として死ぬのなら、社会の一部になる。
けれど、もしも僕が一人孤独に社会のうちで死ぬのなら、僕はきっとゴミになる。
ある種の社会性を確立出来ていない人間は死んだ後に何とも同化しない。
それは個人としているからだ。
個人で生きて自由に死ぬというのはそういう事だ。
死んだ後にゴミにならないといけない。
それは宗教に入っても同じだ。
宗教的に魂の救済はあっても良い。僕は信じないがあっても良い。
だからと言って身体は救済されず、ゴミになる。
君の一部はゴミになる。個人として死ぬのならば。
そして宗教を信じなければ君の全てがゴミになる。
その事の是非は問えない。何故ならそれは自然なことだからだ。
僕達は個人として生きているのに個人として死ぬとゴミだ。
人が寄り集まればそうなる。
社会を形成すればそうなるように、社会がそうになっている。
望ましいかどうかは問題なのではない。
社会の中で一人生きると言うのはそういう事だ。
人間社会での絆が薄くなったと言われる時代。
孤独死を視野にいれなければいけない全ての人に言う。

孤独に死ねばゴミになる。
そして、恐らく孤独で生きる僕は。
死ねばゴミになるのだろう。